

UTIL3150-WIN
MODEL3150 専用ユーティリティ
操 作 ガ イ ド

改訂記録		
改訂番号	改訂日	内容
Rev.1.0	Oct.2004	初版
Rev.1.1	Dec.2004	P10、P12 に注釈を追加
Rev.1.2	Jun.2005	P16 モデルチェンジに伴い、STX・ETX を変更不可とする
Rev.1.3	May.2006	P10、P12 の注釈を変更
Rev.1.4	Mar.2007	書込／読込ビット数に「旧製品のみ指定可」の註釈を追加
Rev.1.5	May.2007	ライセンス入力画面追加
Rev.1.6	Sep.2021	会社ロゴ変更、住所変更、対応 OS 記載変更

1. 本書の著作権はウェルコムデザイン株式会社に属します。
2. 本書の内容は、改良のため、将来予告無く変更する場合があります。
3. 本書の全部または一部を無断で複製することはできません。
4. 本書内に記載している製品名等の固有名詞は、弊社または各社の商標または登録商標です。
5. 本書内において、誤り・記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
6. 本プログラムを運用した結果生じる影響について、弊社では一切責任を負いません。
あらかじめご了承ください。

目 次

1. はじめに.....	2
2. インストールとアンインストール	3
2. 1 インストール.....	3
2. 2 アンインストール	3
3. プログラムの起動と終了.....	4
3. 1 プログラムの起動	4
3. 2 起動時オプション	5
3. 3 プログラムの終了	5
4. 基本操作.....	6
4. 1 設定／データ入力.....	6
4. 2 カードを読む	9
4. 3 カードに書く	11
5. 設定.....	13
5. 1 動作環境設定	14
5. 2 ログ設定.....	17
5. 3 編集方法の設定	19
6. データの操作.....	23
6. 1 ファイルから読み込む	24
6. 2 連番作成	26
7. MODEL3150 の LED 表示	27
8. コード一覧.....	28
8. 1 キー一覧	28
8. 2 仮想キー一覧	29
9. システム制限.....	31

1. はじめに

本書は、弊社「MODEL3150 磁気カードリーダー・ライター」専用ユーティリティ「UTIL3150-WIN」の使用方法について説明します。

* MODEL3150 本体の使用方法や仕様等については、「MODEL3150 取扱説明書」をご覧ください。

UTIL3150-WIN の主な機能

- MODEL3150 の設定・初期化
- 磁気カードへのデータ書込
 - ・ カード書込用データを、テキストファイルまたは CSV 形式ファイルから取得
 - ・ カード書込用に、連番データの作成
 - ・ 半角カナ・漢字コード(Shift-JIS)を JIS コードに変換して書込
 - ・ ベリファイ(読み取り照合)の実施
- 磁気カードからのデータ読込
 - ・ 読込データの編集(抽出／削除／挿入／追加／置換、制御コード・仮想キーの使用)
 - *「制御コード」 特別な文字コードで、改行(CR)やエスケープ(ESC)などのことです。
 - *「仮想キー」 Cntl キー、Backspace キーなど、特殊な処理を行うキーのことです。
 - ・ 読込データ中の半角カナ・漢字コード(JIS コード)を Shift-JIS コードに変換
 - ・ 読込データを、アクティブウィンドウへ送信
 - *「アクティブウィンドウ」は、一番手前で入力や操作の対象となるウィンドウのことです。
 - ・ 読込データを、テキストまたは CSV 形式ファイルに一括出力
- 読込・書込履歴
 - ・ 履歴ファイル名を日付・時間から自動作成
 - ・ 読込履歴・書込履歴を、別ファイル／同一ファイルに記録

動作環境

- 対応 OS Windows 10

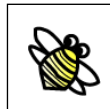
2. インストールとアンインストール

2.1 インストール

「SetUp.exe」を起動してください。

インストールが開始されますので、表示されるメッセージに従ってインストールしてください。

インストールが完了すると、デスクトップ上に、
「UTIL3150-WIN」のアイコンが作成されます。



2.2 アンインストール



をクリックし、[すべてのアプリ]→[WELCOM ユティリティ]→[Uninstall]を選択してください。

「UTIL3150-WIN」の削除が行われます。

3. プログラムの起動と終了

3.1 プログラムの起動

1. デスクトップ上に作成された「UTIL3150-WIN」のアイコンをダブルクリックしてください。



から起動することも可能です。

[すべてのアプリ]→[WELCOM ユティリティ]→[UTIL3150-WIN]を選択してください。

2. ライセンス入力画面が表示されますので、ライセンス番号を入力してください。



2. 「UTIL3150-WIN」が起動され、以下のメイン画面が表示されます。




タスクトレイには「UTIL3150-WIN」アイコンが表示されます。

*「タスクトレイ」はパソコンの画面右下で、

時刻表示の左や下にアイコンが並んでいるところです。



カード読込時、「UTIL3150-WIN」を表示しない場合には、画面右上隅の （最小化ボタン）をクリックすることで、アイコンだけの表示にすることが可能です。

3.2 起動時オプション

「UTIL3150-WIN」の一部の設定は、通常起動では変更できません。

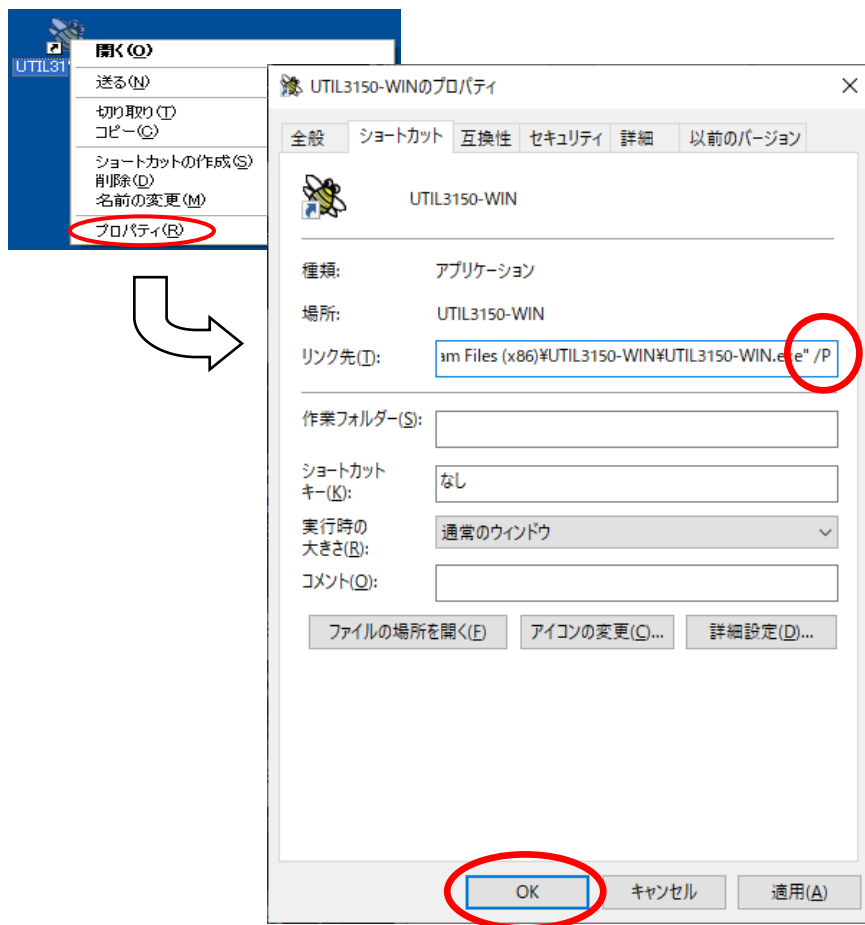
設定の変更が必要な場合は、「UTIL3150-WIN」の起動時にオプションを指定します。

設定には専門的な知識が必要ですので、通常は、このオプションを指定せずにお使いください。

* 設定可否項目については「5. 設定」を参照してください。


オプション指定方法

1. デスクトップ上の「UTIL3150-WIN」のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」を選択します。
2. 「UTIL3150-WIN のプロパティ」の「リンク先(T)」に「 /P」を追加し、「OK」をクリックします。



3.3 プログラムの終了

下記 1)～3)のいずれかの方法で「UTIL3150-WIN」を終了します。

- 1) メイン画面の「UTIL3150-WIN 終了」ボタンをクリックします。
- 2) メイン画面の右上にある  (終了ボタン)をクリックします。
- 3) タスクトレイに表示されている「UTIL3150-WIN」のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから、「終了」を選択します。

4. 基本操作

カード読込・カード書込・データ入力はメイン画面から行います。

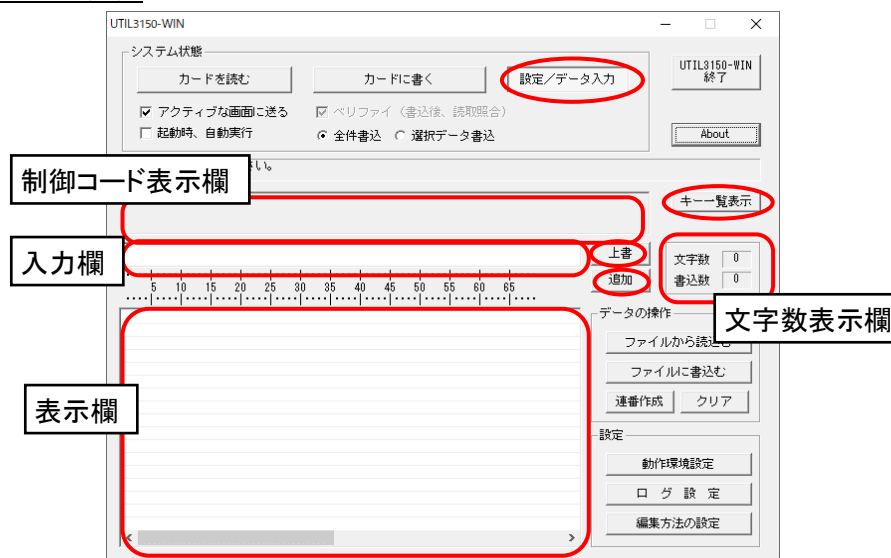
「システム状態」の「カードを読む」「カードに書く」「設定/データ入力」の各ボタンをクリックして、各機能を実行します。起動時は「設定/データ入力」状態になっています。

*「起動時、自動実行」がチェックされていない場合です。

4.1 設定／データ入力

設定やデータの入力を行う場合は、このボタンをクリックし、「設定／データ入力」状態にします。「設定」については「5. 設定」を、「データの操作」(データの読込・書込・連番作成)については、「6. データの操作」をご覧ください。

データ入力画面



- ・ 制御コード表示欄

入力欄に表示されている文字列が表示されます。制御コードは名称に変換して表示されます。CRコード(16進で0d)の場合、<CR>と表示されます。

- ・ 入力欄

データを入力する欄です。制御コードは「・」で表示されます。

- ・ 文字数表示欄

上段(文字数)：入力されているバイト数です。半角は1、全角は2で計算します。

下段(書込数)：実際にカードに書き込まれるバイト数です。

漢字、半角カナが含まれている場合、変換に必要な漢字開始・終了コード、半角カナ開始・終了コードのバイト数を含んで計算します。

- ・ 表示欄

入力されたデータを表示します。

データ入力方法

入力欄にカードに書込む文字列を入力し、「上書」「追加」ボタンをクリックして登録します。
登録した文字列は「表示欄」に表示されます。最大1000件の登録が可能です。
キー一覧を使用して、制御コードを入力することができます。

- ・ 「上書」

入力された文字列を「表示欄」の選択行に書き込みます。

選択がない場合は無視します。複数選択はできません。

＊「選択行」は、処理対象となる行のことです。クリックなどで選択します。

他の行とは異なった色で表示されます。

- ・ 「追加」

入力された文字列を、最後に追加します。

- ・ [Delete] キー ＊ キーボード上にあります

選択行を削除します。複数選択も可能です。

複数選択を行うには、下記の2つの方法があります。

1) 選択範囲の先頭の行をクリックし、[Shift]を押しながら最後の行をクリックします。

2) [Ctrl]を押しながら、選択したい行をクリックします。

- ・ 再編集／参照登録の方法

表示欄に表示されている文字列をダブルクリックすると、入力欄に表示されます。必要な入力を行った後、「上書」または「追加」をクリックしてください。

キー一覧の使い方

制御コードを入力する位置にカーソルを置き、「キー一覧表示」ボタンをクリックして、「キー一覧」画面を表示します。入力するコードをダブルクリックします。
カーソル位置に「・」が表示され、制御コード表示欄に制御コードが文字で表示されます。
下の例では、「3」と「4」の間に、CR コードを入力しています。

① カーソルを置く

② キー一覧を表示する

③ CR をダブルクリックする

CR が表示される

123<CR>4

123・4

注) 制御コードの「コピー」／「貼り付け」はできません

4.2 カードを読む

カード読込手順

1. 「カードを読む」ボタンをクリックします。

* 読込前にポートの設定が必要です。「設定」については「5. 設定」をご覧ください。

「読み込みます。カードを差し込んでください。」というメッセージが表示され、

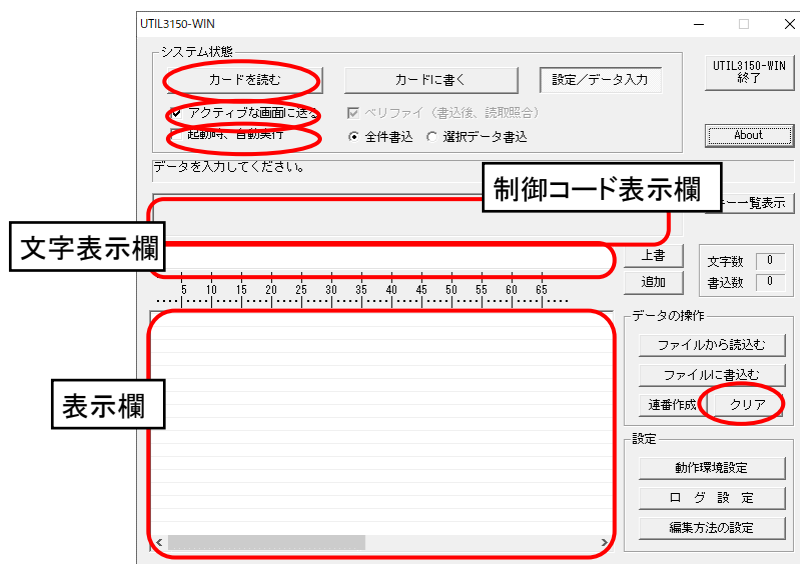
MODEL3150 の「READ/WRITE」LED が緑色に点灯すれば、カードの読込ができます。

2. MODEL3150 にカードを差し込んでください。カードのデータが読み込まれます。

カードの読込ができなかったり、文字化けする場合は、動作環境設定を確認してください。

3. 読込を終了する場合は、「設定／データ入力」をクリックしてください。

カード読込画面



- ・ アクティブな画面に送る

チェックすると、読込データをアクティブウィンドウへ送信します。

* 「アクティブウィンドウ」は、一番手前で入力や操作の対象となるウィンドウのことです。

日本語入力、CapsLock、カナ入力をオフにしてご使用ください。

送信先のアプリケーションによっては、データの送信ができない場合があります。

- ・ 起動時、自動実行

「UTIL3150-WIN」を起動した際に、メイン画面を表示せずアイコン化し、カード読込待ち状態にします。次回起動時より、有効です。

手動でアイコン化する場合は、画面右上隅の （最小化ボタン）をクリックします。

- ・ 制御コード表示欄

文字表示欄に表示されている文字列が表示されます。制御コード・仮想キーは名称に変換して表示されます。

制御コード	CRコードの場合	<CR>
仮想キー	[Enter]キーの場合	[ENT]

- ・ 文字表示欄

カード読込データを表示する欄です。制御コード・仮想キーは「・」で表示されます。

- ・ 表示欄

カード読込データを、読み込み順に一覧形式で表示します。

- ・ クリア

文字表示欄、表示欄をクリアします。

金融系カードの使用について

不正使用を防止するため、金融系カードの使用には別途、解除依頼が必要です。CDに収録している「使用制限解除依頼(兼同意書).pdf」に必要事項を記入・押印後、原本を下記宛先にお送りください。審査後、ご記入いただいたご担当者様へ、解除CDを送付いたします。

(依頼書宛先)

〒651-2228

神戸市西区見津が丘1-13-3

ウェルコムデザイン株式会社

4.3 カードに書く

カード書込手順

1. 「カードに書く」ボタンをクリックします。

* 書込前にポートの設定が必要です。「設定」については「5. 設定」をご覧ください。

「書き込みます。カードを差し込んでください。」というメッセージが表示され、

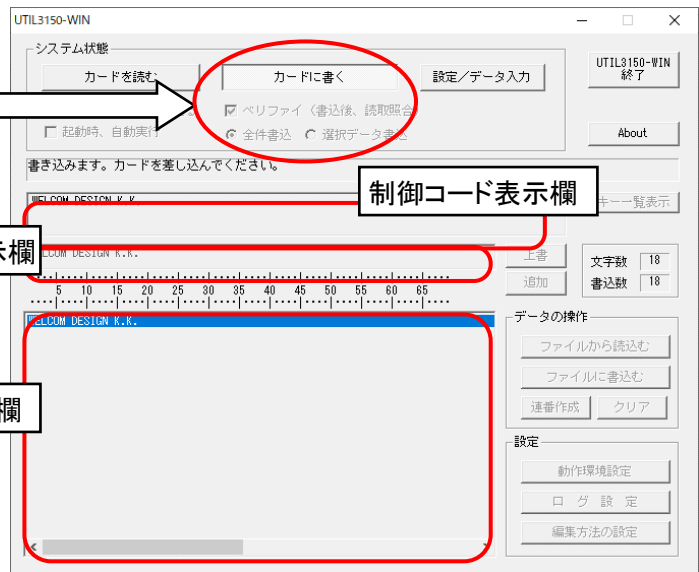
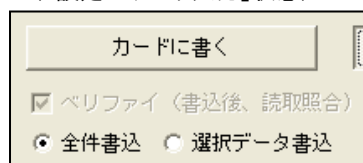
MODEL3150 の「READ/WRITE」LED が橙色に点灯すれば、カードの書込ができます。

2. MODEL3150 にカードを差し込んでください。カードにデータを書込みます。
カードの書込ができない場合は、動作環境設定を確認してください。
データに仮想キーが含まれている場合は、空白に変換して書込みます。

3. 書込を終了する場合は、「設定／データ入力」をクリックしてください。

カード書込画面

(「設定／データ入力」状態)



- ・ ベリファイ(書込後、読取照合)

正常書込みを確認するために、カード書込後に読取を行い、書込データと読込データの照合を行います。設定を変更することはできません。

- ・ 全件書込／選択データ書込

「全件書込」は表示されているデータ全件を、「選択データ書込」は選択されているデータを順次、書き込みます。選択を行うには、下記の2つの方法があります。

- 1) 選択範囲の先頭の行をクリックし、[Shift]を押しながら最後の行をクリックします。
- 2) [Ctrl]を押しながら、選択したい行をクリックします。

* 「全件書込／選択データ書込」の選択切替は「設定／データ入力」状態で行います。

- ・ 制御コード表示欄
文字表示欄に表示されている文字列が表示されます。
制御コード・仮想キーは名称に変換して表示されます。
- ・ 文字表示欄
次にカードに書込むデータを表示します。制御コード・仮想キーは「・」で表示されます。
- ・ 表示欄
カードに書込むデータを、一覧形式で表示します。

金融系カードの使用について

不正使用を防止するため、金融系カードの使用には別途、解除依頼が必要です。CDに収録している「使用制限解除依頼(兼同意書).pdf」に必要事項を記入・押印後、原本を下記宛先にお送りください。審査後、ご記入いただいたご担当者様へ、解除CDを送付いたします。

(依頼書宛先)

〒651-2228

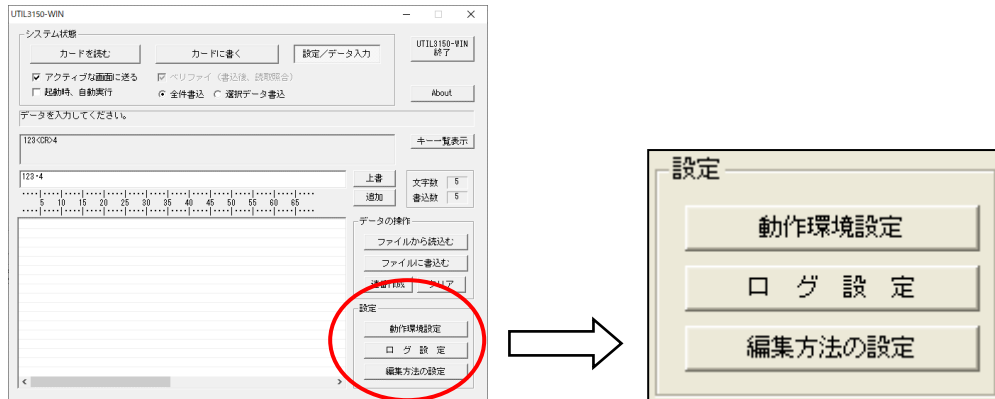
神戸市西区見津が丘1-13-3

ウェルコムデザイン株式会社

5. 設定

カードの読込・書込を行うためには、設定が必要です。

設定の画面は、メイン画面右下のボタンをクリックして表示します。



「UTIL3150-WIN」の設定には、以下の3種類があります。

1. 動作環境設定

「UTIL3150-WIN」の動作環境を設定します。

通信ポートの選択が必要ですので、必ず最初に行ってください。

この画面では、システムリセット、LED テスト等を行うこともできます。

2. ログ設定

読込・書込履歴の記録方法を設定します。

履歴の記録が不要な場合、設定する必要はありません。

3. 編集方法の設定

読み込んだデータの編集方法(抽出・制御コードの付加など)を指定します。

編集を行わない場合、設定する必要はありません。

5.1 動作環境設定

「UTIL3150-WIN」の動作環境を設定します。カード読込／書込には、通信ポートの選択が必要です。必ず設定してください。

通常起動では、「通信ポート」「読込エラー時の設定」の変更が可能です。

それ以外の設定を変更する必要がある場合は、「UTIL3150-WIN」起動時に「/P」を指定します。

指定方法は「3.2 起動時オプションの指定」をご参照ください。

設定画面

通信設定

項 目	説明／注意事項	選択可能値	初期値	変更
ポート	MODEL3150 を接続するポートを指定してください。	COM1 ～COM255	COM1	可
ボーレート	9600bps 以外に設定する場合、MODEL3150 のディップスイッチの変更が必要です。	19,200 bps 9,600 bps 4,800 bps 2,400 bps	9,600 bps	「/P」指定時、 変更可
データ長		8ビット	8ビット	不可
パリティ	「なし」以外に設定する場合、MODEL3150 のディップスイッチの変更が必要です	なし 偶数 奇数	なし	「/P」指定時、 変更可
スタートビット		1ビット	1ビット	不可
ストップビット	「1ビット」以外に設定する場合、MODEL3150 のディップスイッチの変更が必要です	1ビット 2ビット	1ビット	「/P」指定時、 変更可
フロー制御		なし	なし	不可

リーダ・ライタの設定

項 目	説明／注意事項	選択可能値	初期値	変更
書込ビット数	<p>7ビット（JIS X6301-Ⅱ 準拠） データにパリティをつけて書き込みます。</p> <p>8ビット（旧製品※のみ指定可） データをそのまま書込みます。 漢字・カナを Shift-JIS コードで書き込むことができます。 （漢字・半角カナの開始・終了コードを使用しない場合）</p>	7ビット 8ビット	7ビット	「/P」指定時、 変更可
読込ビット数	<p>7ビット（JIS X6301-Ⅱ 準拠） 読み取りデータのパリティを除いて送信します。</p> <p>8ビット（旧製品※のみ指定可） 読み取りデータをそのまま送信します。 Shift-JIS コードで書き込まれた漢字・カナを読むことができます。 （漢字・半角カナの開始・終了コードを使用しない場合）</p>	7ビット 8ビット	7ビット	「/P」指定時、 変更可
LED	<p>リーダ・ライタ LED のコントロールを MODEL3150 側で行います。</p> <p>ホスト LED のコントロールをパソコン側で行います。 （UTIL3150-WIN では、LED が消えたままになります。）</p>	リーダ・ライタ ホスト	リーダ・ ライタ	「/P」指定時、 変更可
ブザー	<p>リーダ・ライタ ブザーのコントロールを MODEL3150 側で行います。</p> <p>ホスト ブザーのコントロールをパソコン側で行います。 （UTIL3150-WIN では、ブザーがありません）</p>	リーダ・ライタ ホスト	リーダ・ ライタ	「/P」指定時、 変更可

※旧製品は、「μ RW」ロゴがカードスロットの左側にあります。

コードの設定

項 目	説明／注意事項	指定可能値	初期値	変更
テキスト開始 (STX)	カード内 STX コードを16進数で指定します。	FF	FF	不可
テキスト終了 (ETX)	カード内 ETX コードを16進数で指定します。	FF	FF	不可
漢字開始	空白で区切って、16進数で指定します。指定しない場合、漢字のJIS／Shift-JIS 変換は行われません。	01～FF (最大5文字)	1B 4B (ESC K)	「/P」指定時、 変更可
漢字終了	空白で区切って、16進数で指定します。指定しない場合、漢字のJIS／Shift-JIS 変換は行われません。	01～FF (最大5文字)	1B 48 (ESC H)	「/P」指定時、 変更可
半角カナ開始	空白で区切って、16進数で指定します。指定しない場合、半角カナのJIS／Shift-JIS 変換は行われません。	01～FF (最大5文字)	0E (SO)	「/P」指定時、 変更可
半角カナ終了	空白で区切って、16進数で指定します。指定しない場合、半角カナのJIS／Shift-JIS 変換は行われません。	01～FF (最大5文字)	0F (SI)	「/P」指定時、 変更可

リーダ・ライタの操作

ボタン	説 明 / 注 意 事 項
システムリセット	システムのリセットを行います。
待ち状態キャンセル	カード読込待ち／書込待ち (READ/WRITE の LED が点灯) を解除します。
カード排出	MODEL3150 内にカードがある場合、排出します。
カード位置表示	MODEL3150 内のカードの有無を表示します。 カードがあれば、カード位置を表示します。
LED テスト	MODEL3150 の LED のテストを行います。
ブザーテスト	MODEL3150 のブザーのテストを行います。

読込エラー時の設定

項 目	説明／注意事項	指定可能値	初期値	変更
メッセージの ポップアップ	読込エラー時に、メッセージをポップアップします。	チェック クリア	チェック	変更可
送信データ	読込エラー時に、読込データの代わりに送信する文字列を指定します。	文字	なし	変更可
改行コードを 付加	送信データに改行を付加します。	チェック クリア	チェック	変更可

5.2 ログ設定

読込／書込履歴の記録方法を設定します。記録を行わない場合、設定不要です。

設定画面

設定項目

項 目	選択項目	説明／注意事項
記録データ	記録しない	履歴を記録しません。
	同じファイルに記録	読込／書込履歴を同じファイルに記録します。 記録するファイルは「共通ログ／カード読込記録」で指定します。
	別のファイルに記録	読込／書込履歴を別のファイルに記録します。
	読込データのみ記録する	カード読込履歴のみを記録します。
	書込データのみ記録する	カード書込履歴のみを記録します。
ファイル作成方法	新規作成	ファイルを新規に作成して記録します。 同一名の既存ファイルは破棄されます。 UTIL3150-WIN 起動後、指定ファイルに最初に記録を行う際に、ファイルを作成します
	追加書込	既存ファイルの続きに記録します。
サイズ制限	MB	ログファイルの許容サイズを、MB(メガバイト)単位で指定します。
	処理方法	メッセージを表示する 読込／書込記録時、指定したサイズを超えていれば、メッセージを表示します。
		データの記録を行わない 読込／書込記録時、指定したサイズを超えていれば、記録を行いません。

項 目	選択項目		説明／注意事項
共通ログ／ カード 読込記録	フォルダ名		ファイルを作成するフォルダ名です。指定は、フォルダ参照ボタンをクリックして行います。
	フォルダ参照		フォルダ選択画面が表示されます。
	ファイル名		ログを記録するファイル名を指定します。 日付・時間を使用してファイル名を自動生成する場合は、下記の特特殊文字を使用します。 &Y ： 年（ 4 桁） 例） 2004 &y ： 年（ 2 桁） 例） 04 &M ： 月（ 2 桁） 例） 10 &D ： 日（ 2 桁） 例） 01 &h ： 時（ 2 桁） 例） 09 &m ： 分（ 2 桁） 例） 00 R&Y&M&D.log と指定した場合 2004 年 10 月 1 日 R20041001.log 2004 年 10 月 2 日 R20041002.log
	ファイル参照		ファイル選択画面が表示されます。 ファイルを選択すると、フォルダ名とファイル名が変更されます。
	制御コードを文字に変換して出力する		チェックした場合 制御コード・仮想キーコードを、コード一覧に表示されている文字列に変換して記録します。 例） 09（タブ） --> <HT> チェックしない場合 制御コードをそのまま記録します。 仮想キーコードは空白に変換します。
	記録する データ	種別(R/W)	チェックした場合、[R] が出力されます。
		日付	チェックした場合、日付が出力されます。
		時間	チェックした場合、時間が出力されます。
カード 書込記録	フォルダ名		「共通ログ／カード読込記録」を参照してください。
	フォルダ参照		
	ファイル名		
	ファイル参照		
	制御コードを文字に変換して出力する		
	記録する データ	種別(R/W)	
		日付	
		時間	

5.3 編集方法の設定

カード読込時に、データを編集する方法を設定します。
編集の必要がない場合は、設定不要です。

設定画面

The screenshot shows a dialog box titled '編集方法欄' (Edit Method) with a close button (X) in the top right corner. The dialog is divided into two main sections: '編集方法欄' (Edit Method) and '表示欄' (Display). The '編集方法欄' section contains fields for '操作' (Operation), '対象位置' (Target Position), '検索文字' (Search Text), and '挿入・追加・置換' (Insert/Add/Replace). Below these are '処理条件' (Processing Conditions) and a '条件' (Condition) dropdown menu. The '表示欄' section contains a table with columns for '操作' (Operation), '対象位置' (Target Position), '検索文字' (Search Text), '挿入・追加...' (Insert/Add...), '条件: 対象位置' (Condition: Target Position), '条件: 検索文字' (Condition: Search Text), and '条件:' (Condition:). The table has several rows, including '抽出' (Extract), '削除' (Delete), '挿入' (Insert), '追加' (Add), and '置換' (Replace). Below the table is a '注' (Note) and a '編集のテスト' (Edit Test) section. The '編集のテスト' section has fields for '編集元' (Edit Source) and '編集結果' (Edit Result). On the right side of the dialog, there are several buttons: 'OK', 'キャンセル' (Cancel), 'キー一覧表示' (Show Key List), '仮想キー表示' (Show Virtual Key List), '読込' (Load), '保存' (Save), 'クリア' (Clear), and '結果表示' (Show Result). Annotations on the right side explain the functions of these buttons.

編集方法欄

操作: 置換, 対象位置: -, 検索文字: -, 挿入・追加・置換: ., 上書, 追加

処理条件: 対象位置: -, 検索文字: -, 条件: 一致する

表示欄

注) 対象位置の指定方法 先頭から5文字目 [5], 2~3文字目 [2-3], 末尾 [\$]
先頭から3文字目~末尾から4文字目 [3-\$4]

操作	対象位置	検索文字	挿入・追加...	条件: 対象位置	条件: 検索文字	条件:
抽出	1-11	-	-	-	-	-
削除	1-5	-	-	-	-	-
挿入	1	-	WELCOM D	-	-	-
追加	\$	-	[ENT]	-	-	-
置換	-	-	.	-	-	-

注) 編集は、1.抽出 2.削除 3.挿入 追加 置換 の順で行われます

編集のテスト (編集結果を表示します)

編集元: ESI-GN K-K-
ESI-GN K-K-

編集結果: WELCOM DESIGN K.K. [ENT]

設定を更新して終了します (OK)

設定を更新せずに終了します (キャンセル)

キー一覧を表示します (キー一覧表示)

仮想キー一覧を表示します (仮想キー表示)

保存した条件を読み込みます (読込)

条件をファイルに保存します (保存)

「編集方法欄」をクリアし、登録した条件を削除します (クリア)

「編集元」欄の文字を、登録済みの編集方法で編集し、結果を表示します (結果表示)

編集方法の登録と変更

編集方法は、「編集方法」欄に必要な項目を入力し、「上書」「追加」ボタンをクリックして登録します。登録した編集方法は「表示欄」に表示されます。最大20件の登録が可能です。

編集方法欄詳細

項 目		選択可能な値	説明／注意事項
操作		抽出	指定された位置/文字を抽出します。
		削除	指定された位置/文字を削除します。
		挿入	指定された位置/文字の前に挿入します。
		追加	指定された位置/文字の後に追加します。
		置換	指定された位置/文字を置き換えます。
対称位置		1～69 \$、\$ 69～\$ 1 省略	処理を行う位置を指定します。 一番先頭が「1」、末尾は「\$」です。 範囲指定の場合は、「-」でつながります。 「5」 5文字目 「3-10」 3～10 文字目 「\$」 末尾 「10-\$4」 10～末尾から4文字目 省略する(入力しない)ことも可能です。 省略の場合は、検索文字の指定が必要です。
検索文字		文字 (全角・半角かを含む) 制御コード	処理を行う文字を指定します。 対象位置が指定されていない場合は読込データ全体を、指定されている場合は指定範囲内にある文字を処理対象とします。 制御コードは「キー一覧」から指定します。 (入力欄には「・」で表示されます。) 省略することも可能です。 省略の場合は、対称位置の指定が必要です。
挿入・追加・置換		文字 (全角・半角かを含む) 制御コード 仮想キーコード	挿入／追加／置換する文字を指定します。 制御コードは「キー一覧」、仮想キーコードは「仮想キー一覧」から指定します。 (入力欄には「・」で表示されます。)
処理条件	操作対象となるデータの条件を指定します。		
	対称位置	1～69 \$、\$ 69～\$ 1 省略	検索を行う位置を指定します。 指定方法は上記「対称位置」と同様です。 省略することも可能です。
	検索文字	文字 (全角・半角かを含む) 制御コード	検索する文字を指定します。指定方法は上記「検索文字」と同様です。省略はできません。
	条件	一致する	検索文字と一致するデータを対象とします。
		一致しない	検索文字と一致しないデータを対象とします。
		含む	検索文字を含むデータを対象とします。
		含まない	検索文字を含まないデータを対象とします。

「上書」

入力された編集条件を「表示欄」の選択行に書き込みます。

選択がない場合は無視します。複数選択はできません。

*「選択行」は、処理対象となる行のことです。クリックなどで選択します。

他の行とは異なった色で表示されます。(上記画面では5行目)

「追加」

入力された編集条件を、最後に追加します。

[Delete] キー (キーボード上にあります)

選択行を削除します。複数選択も可能です。

複数選択を行うには、下記の2つの方法があります。

- 1) 選択範囲の先頭の行をクリックし、[Shift]を押しながら最後の行をクリックします。
- 2) [Ctrl]を押しながら、選択したい行をクリックします。

再編集／参照登録の方法

表示欄に表示されている編集方法をダブルクリックすると、編集方法欄に表示されます。

必要な入力を行った後、「上書」または「追加」をクリックしてください。

編集方法の処理順について

編集方法が複数ある場合、優先順位は 1.「抽出」 2.「削除」 3.「挿入」「追加」「削除」です。

優先順位が同じ場合は、上から順に処理されます。

仮想キー一覧の使い方

仮想キーは、「編集方法の設定」の「挿入・追加・置換」の入力枠で使用できます。

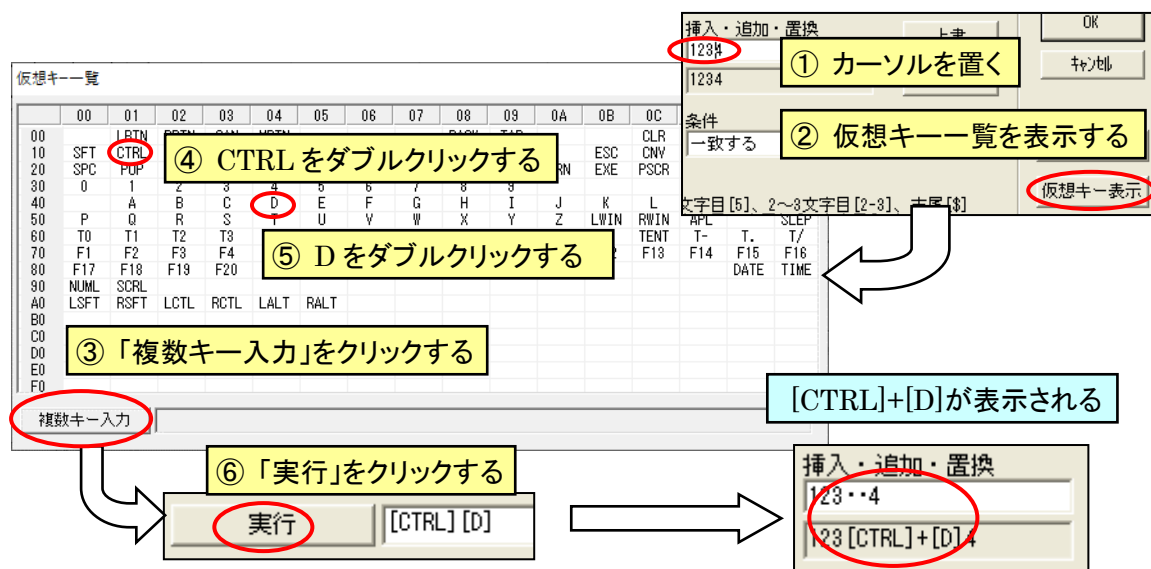
「仮想キー一覧」の使い方は、「キー一覧」と同様ですが、複数キーの同時押下が可能です。

*「キー一覧」の使用方法は、「4.1 設定／データ入力」をご覧ください。

複数キーを入力するには、

- 1) 「複数キー入力」ボタンをクリックします。ボタンの表示が「実行」に変わります。
- 2) 同時に押下したいキーを順次ダブルクリックして指定します。
- 3) 「実行」をクリックします。同時押下するキーは「+」でつないで表示されます。

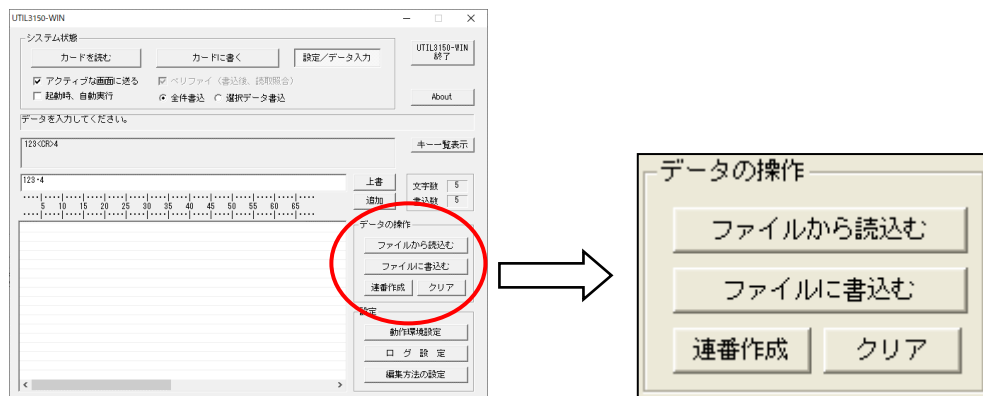
下の例では、「3」と「4」の間に、[Ctrl]キーと[D]キーの同時押下を入力しています。



注) 仮想キーの「コピー」／「貼り付け」はできません。

6. データの操作

データの操作は、読込データを保存したり、カードに書込むデータを一括して読込／作成する機能です。
データの操作は、メイン画面右のボタンをクリックして行います。



データの操作には、以下の4種類があります。

1. ファイルから読込む

カードに書込むデータをファイルから読み込みます。

読込可能なファイルはテキスト形式(.txt)と CSV 形式(.csv)です。

読込条件の設定ができます。

2. ファイルに書込む

表示欄に表示されているデータをファイルに書き込みます。

ファイル選択画面が表示されますので、ファイルを選択し、書き込みます。

書き込み可能なファイルは、テキスト形式(.txt)と CSV 形式(.csv)です。

3. 連番作成

カードに書き込む連番データを作成します。

前回と同じデータの再作成、前回の続きの連番作成が可能です。

4. クリア

入力欄をクリアし、登録した抽出条件を削除します。

6.1 ファイルから読込む

カードに書込むデータをファイルから読み込みます。読み込んだデータは、メイン画面に表示されているデータに追加されます。読み可能なファイルはテキスト形式(.txt)とCSV形式(.csv)です。ファイルの一部を読み込むための抽出条件の設定ができます。

読込指定画面

The screenshot shows a dialog box titled 'ファイルから読込' (Import from File). It contains fields for 'ファイル名' (File Name), '処理対象指定' (Processing Target Specification), and '抽出条件' (Extraction Conditions). The '抽出条件' section includes a table with columns '対象位置' (Target Position), '検索文字' (Search Text), and '条件' (Condition). Below the table is a note about specifying target positions. On the right side of the dialog, there are buttons: '参照' (Reference), 'OK', 'キャンセル' (Cancel), '上書' (Overwrite), '追加' (Add), 'キー一覧表示' (Show Key List), '条件の読込' (Load Conditions), '条件の保存' (Save Conditions), and 'クリア' (Clear). Callouts point to these buttons and the table, explaining their functions.

抽出条件を変更します
選択されている行を更新します

抽出条件を追加します

ファイル選択画面を表示します

読込を実行します
抽出条件を保存します

読込を行わずに、終了します
抽出条件の保存は行いません

キー一覧を表示します

条件の読込

条件の保存

「編集方法欄」をクリアし、登録した条件を削除します

表示欄: 登録されている抽出条件が一覧形式で表示されます

読込対象ファイルの指定

ファイル名

読込を行うファイルを指定します。「参照」をクリックすると、ファイル選択画面が表示されますので、ファイルを選択してください。

ファイル全体を読み込む場合は、「処理対象指定」欄の入力や抽出条件の登録は不要です。

処理対象指定

読込むレコードの番号(行番号)を指定します。

一番先頭が「1」、末尾は「\$」です。範囲指定の場合は、「-」でつなぎます。

離れた番号を指定する場合は「,」でつなぎます。

「5」 5行目だけを読み込む

「3-10」 3～10行目を読み込む

「\$」 最後の行だけを読み込む

「10-\$」 10～最後から4行目を読み込む

「2, 5」 2行目と5行目を読み込む

省略した(入力しない)場合は、ファイル全体を読み込む対象とします。

抽出条件の登録と変更

抽出条件は、「抽出条件」欄に必要な項目を入力し、「上書」「追加」ボタンをクリックして登録します。登録した抽出条件は「表示欄」に表示されます。最大20件の登録が可能です。制御コードの入力方法については、「4.1 設定／データ入力」を参照してください。

抽出条件欄詳細

項 目	選択可能な値	説明／注意事項
対称位置	1～69 \$、\$ 69～\$ 1 省略	検索対象範囲を指定します。 一番先頭が「1」、末尾は「\$」です。 範囲指定の場合は、「-」でつなぎます。 「5」 5文字目 「3-10」 3～10 文字目 「\$」 末尾 「10-\$4」 10～末尾から4文字目 省略する(入力しない)ことも可能です。
検索文字	文字 (全角・半角か含む) 制御コード	検索する文字を指定します。 対象位置が指定されていない場合は読込データ全体を、指定されている場合は指定範囲内にある文字を検索対象とします。 制御コードは「キー一覧」から指定します。 (入力欄には「・」で表示されます。) 省略はできません。
条件	一致する	検索文字と一致する行を対象とします。
	一致しない	検索文字と一致しない行を対象とします。
	含む	検索文字を含む行を対象とします。
	含まない	検索文字を含まない行を対象とします。

「上書」

入力された抽出条件を「表示欄」の選択行に書き込みます。

選択がない場合は無視します。複数選択はできません。

「追加」

入力された抽出条件を、最後に追加します。

[Delete] キー (キーボード上にあります)

選択行を削除します。複数選択も可能です。

複数選択を行うには、下記の2つの方法があります。

- 1) 選択範囲の先頭の行をクリックし、[Shift]を押しながら最後の行をクリックします。
- 2) [Ctrl]を押しながら、選択したい行をクリックします。

再編集／参照登録の方法

表示欄に表示されている編集方法をダブルクリックすると、編集方法欄に表示されます。

必要な入力を行った後、「上書」または「追加」をクリックしてください。

6.2 連番作成

カードに書き込む連番データを作成します。作成したデータは、メイン画面に表示されます。
前回と同じデータの再作成、前回の続きの連番作成が可能です。

設定画面

The screenshot shows the '連番作成' (Serial Number Creation) dialog box. It contains fields for '桁数' (Number of digits), '開始数' (Start number), '終了数' (End number), and '増加数' (Increment). There are also fields for '前置文字' (Prefix) and '後置文字' (Suffix). Below these fields is a section for '作成テスト' (Create Test) with a 'テスト実行' (Execute Test) button. On the right side of the dialog, there are four buttons: 'OK', 'キャンセル' (Cancel), 'キー一覧表示' (Show Key List), and '前回の続き' (Continue from Previous). Below these buttons are two more buttons: '前回と同じ' (Same as Previous) and '入力データを使用して作成される連番を表示します' (Display serial numbers created using input data).

Callouts from the buttons to the right:

- OK: 連番を作成します
入力項目を保存します
- キャンセル: 作成を行わずに、終了します
入力項目の保存は行いません
- キー一覧表示: キー一覧を表示します
- 前回の続き: 前回番号の続きを作成できるよう各項目を設定します。
- 前回と同じ: 前回番号と同一連番を作成できるよう各項目を設定します。
- 入力データを使用して作成される連番を表示します

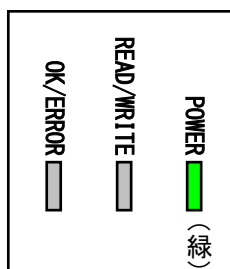
連番・前置文字・後置文字

項目	説明／注意事項	入力可能値
桁数	連番を作成する桁数を入力します。 作成した数が桁数を超える場合は下位の桁が有効になります。例えば、桁数が3の時に、「1234」という番号を作成しようとした場合、「234」となります。	1～9
開始数	連番の最初の数を指定します。	0～999999999
終了数	連番の最後の数を指定します。 開始数以上の数を入力してください。	0～999999999
増加数	連番の増加数を指定します。	1～999999999
前置文字	連番の前に付加する文字を指定します。日付・時間を使用する場合は、下記の特文字を使用します。 &Y : 年 (4桁) 例) 2004 &y : 年 (2桁) 例) 04 &M : 月 (2桁) 例) 10 &D : 日 (2桁) 例) 01 &h : 時 (2桁) 例) 09 &m : 分 (2桁) 例) 00 「年月日-」を付加する場合は、「&Y&M&D-」です。	50文字まで
後置文字	連番の後に付加する文字を指定します。 指定方法は上記「前置文字」と同様です。	50文字まで

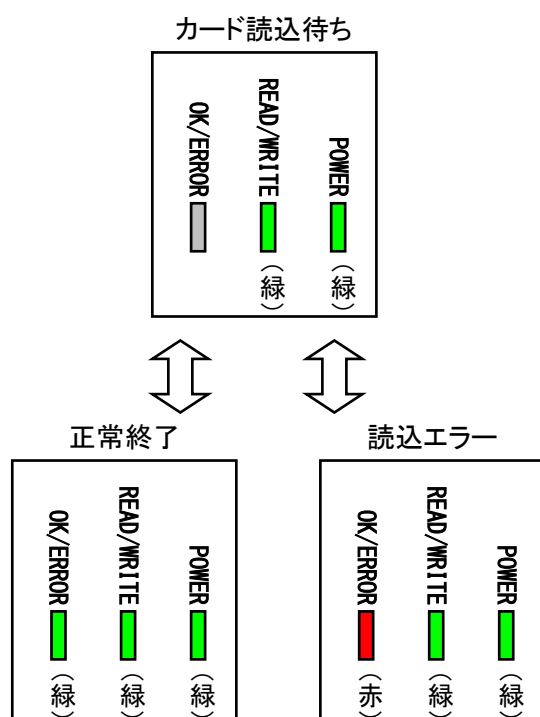
7. MODEL3150 の LED 表示

MODEL3150 の前面には、「POWER」「READ/WRITE」「OK/ERROR」の3種類の LED があり、MODEL3150 の状態が表示されます。

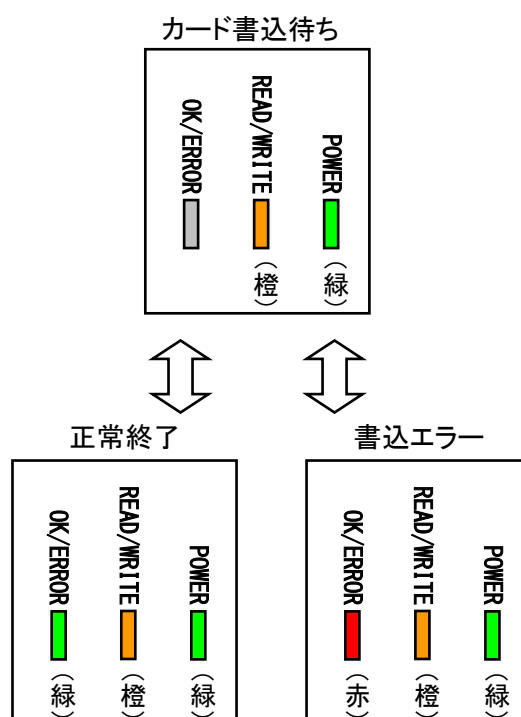
電源投入時、設定／データ入力時



カード読込時



カード書込時



- ・「設定／データ入力」状態で、「READ/WRITE」LED が点灯している場合、「動作環境設定」で「待ち状態キャンセル」を行ってください。
- ・「OK/ERROR」LED が点灯したままになった場合は、カードが排出されていないことがあります。「動作環境設定」で「カードの排出」を行ってください。
- ・上記処理を行っても、「UTIL3150-WIN」の状態と、MODEL3150 の状態が一致しない場合は、MODEL3150 の電源を再投入し、「UTIL3150-WIN」を再起動してください。

8. コード一覧

8.1 キー一覧

コード(16進数)	表示	意 味
01	SOH	ヘッダ開始
02	STX	テキスト開始
03	ETX	テキスト終了
04	EOT	転送終了
05	ENQ	問合せ
06	ACK	肯定応答
07	BEL	ベル
08	BS	後退
09	HT	水平タブ
0A	LF	改行
0B	VT	垂直タブ
0C	FF	改ページ
0D	CR	復帰
0E	SO	シフトアウト
0F	SI	シフトイン
10	DLE	伝送制御拡張
11	DC1	装置制御 1
12	DC2	装置制御 2
13	DC3	装置制御 3
14	DC4	装置制御 4
15	NAK	否定応答
16	SYN	同期信号
17	ETB	転送ブロック終了
18	CAN	取消
19	EM	媒体終端
1A	SUB	置換
1B	ESC	拡張
1C	FS	ファイル分離
1D	GS	グループ分離
1E	RS	レコード分離
1F	US	ユニット分離
20	SPC	空白
30 ~ 39	0 ~ 9	数字
41 ~ 5A	A ~ Z	英字(大文字)
61 ~ 7A	a ~ z	英字(小文字)
B1 ~ DF	ア ~ ン, *, °	半角カナ
その他		記号など

8.2 仮想キー一覧

注) [] は、キーを表します。

コード(16進数)	表示	意 味
01	LBTN	マウス左ボタン
02	RBTN	マウス右ボタン
03	CAN	[Cancel]
04	MBTN	マウス中央ボタン
08	BACK	[Back Space]
09	TAB	[Tab]
0C	CLR	[Clear]
0D	ENT	[Enter]
10	SFT	[Shift]
11	CTRL	[Ctrl]
12	ALT	[Alt]
13	PAUS	[Pause]
14	CAPS	[Caps Lock]
15	KANA	IME カナモード
19	KANJ	IME 漢字モード
1B	ESC	[Esc]
1C	CNV	IME 変換
1D	NCNV	IME 無変換
20	SPC	[スペース]
21	PUP	[Page Up]
22	PDWN	[Page Down]
23	END	[End]
24	HOME	[Home]
25	LEFT	[←]
26	UP	[↑]
27	RIT	[→]
28	DOWN	[↓]
29	SEL	[Select]
2A	PRN	[Print]
2B	EXE	[Execute]
2C	PSCR	[Print Screen]
2D	INS	[Insert]
2E	DEL	[Delete]
2F	HELP	[Help]

コード(16進数)	表示	意 味
30 ～39	0 ～ 9	[0] ～ [9]
41 ～5A	A ～ Z	[A] ～ [Z]
5B	LWIN	左の[Windows]
5C	RWIN	右の[Windows]
5D	APL	アプリケーションキー
5F	SLEP	コンピュータスリープキー
60 ～69	T0 ～ T9	テンキーの [0] ～ [9]
6A	T*	テンキーの [*]
6B	T+	テンキーの [+]
6C	TENT	テンキーの [Enter]
6D	Tー	テンキーの [-]
6E	T.	テンキーの [.]
6F	T/	テンキーの [/]
70 ～87	F1 ～ F24	[F1] ～ [F24]
8E	DATE	現在日付 * UTIL3150-WIN 専用機能
8F	TIME	現在時刻 * UTIL3150-WIN 専用機能
90	NUML	[Num Lock]
91	SCRL	[Scroll Lock]
A0	LSFT	左の [Shift]
A1	RSFT	右の [Shift]
A2	LCTL	左の [Ctrl]
A3	RCTL	右の [Ctrl]
A4	LALT	左の [Alt]
A5	RALT	右の [Alt]

9. システム制限

項 目		説明／注意事項
動作環境	対応 OS	Windows 2000/XP
	コンピュータ	上記システムが動作可能で、MODEL3150 が接続可能なパーソナルコンピュータ
カード書込	書込可能バイト数	1～69バイト
	同時書込可能件数	1000件
カード読込	読込可能バイト数	1～69バイト
	編集後、表示可能バイト数	0～500バイト
	同時表示可能件数	1000件
動作環境設定	漢字開始コード	5文字
	漢字終了コード	5文字
	半角カナ開始コード	5文字
	半角カナ終了コード	5文字
ログ設定	ログファイルサイズ制限	1～999MB
編集方法の設定	対称位置	1～69
	検索文字	20文字
	挿入・追加・置換	20文字
	処理条件: 対称位置	1～69
	処理条件: 検索文字	20文字
	編集方法登録可能数	20件
ファイルから読込	処理対象指定	1～999999999 カンマで、20個まで指定可能
	対称位置	1～69
	検索文字	20文字
	抽出条件登録可能数	20件
	読込可能件数	1000件(表示中のデータがない場合)
	1行の読込バイト数	先頭69バイト (2000バイトまでを1行として読込)
連番作成	作成可能連番	0～999999999
	前置文字	50文字
	後置文字	50文字
	作成可能件数	1000件